

議会だより

2018.8.1

長生村議会

検索



村の木「ラカンマキ」

議会定例会 4月・5月・6月会議

主な内容

- 新議員の抱負 ————— 2P～
- 定例会で決まったこと ————— 4P～
- 一般質問(5名) ————— 7P～

発行：長生村議会 編集：議会だより編集特別委員会



村の花「ハマヒルガオ」

議会議員としての

私の抱負

平成30年4月22日に執行された議会議員選挙の結果、
16名の議員が当選しました。
今期の私達の抱負を、お伝えします。

このたびの村議選にあたり、皆様方の暖かいご支援を賜り初当選させていただきました。有難うございました。

私は、高齢者福祉政策、施設整備を推進し、健康で長生きの村を目指します。

また、農業・産業の活性化をし、特産品の開発・販売促進に力を入れます。



1期

岩坂 研一
(本郷 745452) (60歳)

4年間という活動の場を与えていただきました。

「伝える事・届ける事」から始め、皆様の身近な存在として、様々な問題に取り組んでいく所存です。

責任世代として、多方面にわたり、気を配り、心を配り、私らしい視野と視点で村づくりに邁進します。



1期

岡本 高直
(岩沼 248253) (47歳)

4月に実施された村議選において、暖かいご支援をいただき心から感謝申し上げます。公約実現に向けて、支持者の皆様のご要望やご意見に耳を傾けながら、尽力してまいります。子育て支援、防災、高齢者の福祉そして農業振興実現のために励んでまいります。



1期

木嶋 晴一
(岩沼 1621) (67歳)

子どもを産み育てやすい環境づくりを進めるとともに、弱者への配慮を第一に考え、誰もがいきいきと生活できる村を目指します。

また、農業・商工業の振興と発展のため、地産地消の促進に取り組みます。

かがやく未来・長生村を目指して頑張ります。



1期

野口 康宏
(曾根 8) (62歳)

4月の議会選挙で、議員にさせていただきました。認定子ども園や学校給食センターの建設には反対し、駅周辺の整備には住民投票を求め、税金の使い方を見直させます。私は「つらぬきます・住民が主人公」そして、憲法を大切に、合併しない村を残します。



2期

石井 俊雄
(七井土 138752) (67歳)

安倍自公政権によるあまりにもひどい国民いじめの悪政から、村民のいのちと生活を守る防波堤となり、国会秘書の経験を活かして村政をチエックし、村民要求実現のため努力します。

「初心忘るべからず」を肝に銘じ、平和、自由、民主主義を守って頑張ります。



1期

塩谷 法道
(金田 30005106) (74歳)

鈴木博 (68歳)
(一松 1936)



2期

皆様の声を村政に反映すべく活動してまいります。

排水不良問題は、農業、災害、環境対策として喫緊の課題であり、安心、安全の村づくりのために努力してまいります。また、地域の活性化対策として、雇用の創出などにも取り組めます。

千葉一雅 (67歳)
(本郷 2577)



3期

「皆様の声を村政へ！」を基本理念の下、住民が安心・安全に暮らせる村づくりを目指します。

教育については、村の将来を担う子ども達のために教育環境の充実をはかってまいります。また、村の主力である農産物・特産品の開発に力を注ぎます。

小倉利一 (70歳)
(本郷 534224)



3期

少子高齢化社会において、村を存続するため、若者の働く場所の確保、農業後継者不足・不在に対処するための育成、畑を活用する観光農業や企業誘致と尼ヶ台公園活用による産業の活性化。子育て支援・教育の充実と高齢者の健康づくり。生活支援で住みやすい村を。

東間永次 (72歳)
(驚 156)



8期

村民の安心・安全を守る政治に全力を傾注します。現在、村では、八積駅周辺環境整備事業を進めています。

この事業の中でも、交通事故が懸念される、南口の整備を早期に実現すべき課題と捉え、事業実現のため努力します。

関克也 (58歳)
(信友 1935553)



8期

「水道料金や国保税、介護保険があまりにも高すぎます。」と悲鳴の声が多く寄せられました。

子育て世代の負担軽減や乗り合いタクシーの運行など、子どもからお年寄りまで、だれもが安心して暮らせる村づくりに、力いっぱいがんばる決意です。

井下田政美 (59歳)
(水口 28453)



3期

このたび、3期目の当選をさせていただき、ありがとうございます。

今後も初心を忘れず、更なる自己研鑽に励むとともに、「現場第一主義」に徹し、「村民の皆様の声」「地域の声」に真摯に耳を傾け、村政とのパイプ役となつてまいります。

門口昭 (69歳)
(岩沼 44513)



3期

行政の原点は「住民が安心して生活できる」に尽きると 생각합니다。少子高齢化に向かい、今からやらねばならないことは何か、備えるべきは何か、平和憲法の精神を村政に生かし、村民の、村民による、村民のための議会づくりを皆様と共に進めてまいります。

阿井市郎 (71歳)
(七井土 173001)



4期

永年、地方行政マンとして培ってきた経験と知識をいかし「安心して子育てのできるまち、健康でいきいき暮らせるまちづくり」の実現を目指して活動してまいります。特に「地域医療体制の充実」や「八積駅周辺環境整備」に取り組んでまいります。

中村秀美 (57歳)
(一松丁 3472)



8期

人口減少と少子高齢化が急速に進むなか、高齢者や障がい者の生活支援に取り組む一方、子育て支援や雇用の創出をはかり、次代を担う若い人たちを育むことが求められています。

住民の切実な願いを村政に届け「住民本位の村づくり」に努力します。

矢部眞男 (69歳)
(信友 1779)



3期

高齢化社会に突入し、医療費が増加する中、介護予防事業等の充実により医療費の抑制につなげ、子育て支援の拡充をはかると共に、担い手農家不足により遊休地の増加で自然環境の悪化が懸念されます。地域が一丸となって環境保全に取り組まなければなりません。

議会定例会5月会議 議会構成決まる

議会議員改選後の初議会を、5月9日に開催しました。本会議では正副議長の選挙が行われ、議長に矢部眞男議員、副議長に小倉利一議員が選出されました。
また、各常任委員会委員の選任などが行われ、新体制での議会運営が始まりました。



副議長 小倉 利一



議長 矢部 眞男

就任のごあいさつ

このたび、議員各位のご推挙によりまして、議長・副議長に就任いたしました。

浅学非才を顧みまして、責任の重さを一層痛感しているところでございます。

今後も、公正・公平を心がけながら円滑な議会運営に努めるとともに、議会の更なる活性化や議会運営の向上に向け、全力を傾注してまいります。

議会と執行機関は、それぞれ独立、対等の立場として村民一人ひとりが幸せに、そして安心して暮らせるまちづくりを進めるという目的に向かって、共に研鑽しながら村民の負託に添えていかなければならないと考えております。

結びに、村民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、議会に対しまして一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

総務経済常任委員会

総務課、企画財政課、産業課、まちづくり課、下水道環境課、会計課、選挙管理委員会、監査委員、農業委員会、議会事務局などに属する事項を所管します。

- 委員長 阿井 市郎
- 副委員長 関 克也
- 委員 中村 秀美
- 委員 小倉 利一
- 委員 石井 俊雄
- 委員 野口 康宏
- 委員 岩坂 研二

教育民生常任委員会

住民課、税務課、福祉課健康推進課、教育委員会に属する事項を所管します。

- 委員長 千葉 一雅
- 副委員長 井下田政美
- 委員 東間 永次
- 委員 山口 昭
- 委員 鈴木 博
- 委員 塩谷 法道
- 委員 木嶋 晴一
- 委員 岡本 高直

議会運営委員会

議会を円滑に運営するために、常任委員会とは別に設置される委員会です。

- 選任された委員は次のとおりです。
- 委員長 東間 永次
 - 副委員長 関 克也
 - 委員 阿井 市郎
 - 委員 千葉 一雅
 - 委員 井下田政美
 - 委員 石井 俊雄

長生都市広域市町村圏 組合議会議員の選挙

議会から次の2名が選出されました。

- 矢部 眞男
- 阿井 市郎

一宮聖苑組合 議会議員の選挙

議会から次の議員が選出されました。

- 山口 昭

後期高齢者医療広域 連合議会議員の選挙

議会から次の議員が選出されました。

- 井下田政美

総合開発審議会 委員の指名

議会から次の3名が選出されました。

- 中村 秀美
- 阿井 市郎
- 千葉 一雅

議会改革を進めます

議会改革特別委員会を設置しました。

議会の改革を不断に進め、住民の負託に応えられる議会の構築を目的としています。

議員全員16名で構成され、今期4年間、常設の特別委員会として活動します。

- 委員長 阿井 市郎
- 副委員長 関 克也

災害対策を進めます

災害対策特別委員会を設置しました。

平成23年3月11日の東北地方太平洋沖地震にともなう発生した津波は各地に甚大な被害をもたらしました。

いつ発生するかわからない災害に対し、いかに村民

の安全を確保し、生命を守るかを調査・検討するためです。

議員全員16名で構成され、今期4年間、常設の特別委員会として活動します。

- 委員長 矢部 眞男
- 副委員長 小倉 利一

幸福の科学大学建設 問題を調査します

幸福の科学大学建設にかかる調査特別委員会を設置しました。

大学の建設が、住環境・自然環境・地域経済などに与える影響について広く意見を聴取し、村民が大学について抱いている期待や不安について明らかにし、安心・安全な村づくりに必要な事項について、調査・研究します。

議員全員16名で構成され、調査終了まで特別委員会として活動します。

- 委員長 門口 昭
- 副委員長 石井 俊雄

八積駅周辺のまちづくりを調査します

八積駅周辺まちづくり調査研究特別委員会を設置しました。

村が中心拠点に位置付けている八積駅周辺地区において「愉しく利便性の高い中心地区の地域づくり」として進めている八積駅周辺環境整備事業について、施設整備の内容や予算規模などの妥当性について、調査・研究します。

議員全員16名で構成され、調査終了まで特別委員会として活動します。

- 委員長 東間 永次
- 副委員長 井下田政美

議会活動をわかりやすく伝えます

議会だより編集特別委員会を設置しました。

村民の皆様には、議会活動を広くお知らせするため、年4回「議会だより」を発行し、議会の考えや村の状況をわかりやすくお伝えすることを目的としています。委員数は8名で、1年ごとに改選されます。

- 委員長 門口 昭
- 副委員長 野口 康宏



議会定例会 6月会議

平成30年6月会議を、6月12日・13日の2日間で開催しました。

本会議では、報告3件、同意1件、議案5件、請願2件、発議案3件が上程されました。

一般質問では5名の議員が村政を質しました。

監査委員を選任

議会改選にともない、議員から選任される監査委員に鈴木博議員が提案され、同意しました。

同議員は、財務管理、経営管理に関し優れた識見を有しており、適任と認められました。



鈴木 博 議員

国民健康保険税条例の一部改正を可決

本年4月から、都道府県が国民健康保険の財政運営の責任主体となったことにもなう国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

を可決しました。

県から割り当てられた国保事業費納付金に国民健康保険税を充当しますが、課税限度額を国の基準に合わせたため限度額が引き上げられる一方、軽減判定所得の対象範囲が拡大されます。

施行日は平成30年4月1日です。

一般会計補正予算を可決

既定の予算に歳入歳出それぞれ508万7千円を追加し、総額53億7608万7千円とする補正予算を可決しました。

主な歳入

◎農林水産業費県補助金

159万1千円

「さわやか畜産総合展開事業補助金」を活用して事業を実施するためです。

※次ページへ続く

◎教育費県委託金

20万円

村内の2小学校が県の教育推進校に指定を受けたことによりです。

◎主な歳出

◎畜産業費

238万7千円

家畜排せつ物を適正に処理するため、堆肥舎整備の助成にあてるものです。

◎教育振興費

20万円

八積小学校が「特色ある道徳教育推進校」に、一松小学校が「オリンピック・パラリンピック教育推進校」の指定を受けたため、講演会の講師謝礼などにあてるものです。

請願・意見書

請願

次の2件の請願を可決し、意見書に係る機関に送付しました。

請願第1号

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体千葉県連

絡会

◎請願内容

「義務教育費国庫負担制度の堅持を要望する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員

阿井 市郎
関 克也

請願第2号

「国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願

◎請願者

請願第1号提出者に同じ。

◎請願内容

子どもたちの健全育成、教育環境の充実をはかるため「教育予算拡充に関する意見書」の提出を求めたものです。

◎紹介議員

請願第1号に同じ。

意見書

「茂原一宮道路」(通称長生グリーンライン)は圏央道などと一体となって機能し、外房地域の活性化や観光振興に寄与し、災害時には緊急輸送道路としての役割も担う重要な道路です。

「県道茂原・白子バイパス」は圏央道茂原北イン

ターチエンジンや千葉外房有料道路と一体となり、首都圏と九十九里地域を連絡

審議結果一覧表

4月会議		
議案番号	件名	審議結果
承認第1号	専決処分した事件の承認を求めることについて(平成29年度長生村介護保険特別会計補正予算(第4号))	承認 全員一致
議案第30号	損害賠償請求事件に関する訴えの提起について	可決 全員一致

5月会議		
議案番号	件名	審議結果
発議案第4号	議会改革特別委員会の設置に関する決議について	可決 全員一致
発議案第5号	災害対策特別委員会の設置に関する決議について	可決 全員一致
発議案第6号	幸福の科学大学建設にかかる調査特別委員会の設置に関する決議について	可決 全員一致
発議案第7号	八積駅周辺まちづくり調査研究特別委員会の設置に関する決議について	可決 全員一致
発議案第8号	長生村議会だより編集特別委員会の設置に関する決議について	可決 全員一致

6月会議		
議案番号	件名	審議結果
同意第1号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意 全員一致
議案第31号	長生村一般職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 全員一致
議案第32号	長生村国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	可決 賛成多数
議案第33号	長生村放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決 全員一致
議案第34号	重度心身障がい者の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決 全員一致
議案第35号	平成30年度長生村一般会計補正予算(第1号)	可決 全員一致
請願第1号	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願	採択 全員一致
請願第2号	「国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願	採択 全員一致
発議案第9号	茂原一宮道路及び県道茂原・白子バイパス建設・整備を求める意見書の提出について	可決 全員一致
発議案第10号	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書の提出について	可決 全員一致
発議案第11号	国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書の提出について	可決 全員一致

する幹線道路であり、大規模地震による津波避難路としての役割も重要です。さらに農作物の流通取引増大とそれにとまなう市場拡大が見込まれるとともに、九十九里地域の観光拠点等への集客を高めることが期待されます。両道路の早期開通に向けて、千葉県知事に要望する意見書を全員一致で採択しました。

この原因は同校校舎増改築工事において、屋根工事

により、長生中学校校舎の屋根が破損し飛散しました。

損害賠償請求事件に関する訴えの提起について

平成30年4月会議を、4月11日に開催しました。本会議では承認1件、議案1件が上程されました。

議会定例会 4月会議

平成29年10月23日の台風23号の通過にもなう強風により、長生中学校校舎の屋根が破損し飛散しました。設計、施工および監理に過失があったためとし、不法行為に基づき補修金額相当額の損害賠償を支払うよう請求する訴えを提起する議案を可決しました。

1. (株)千町村建築研究所
2. りんかい日産建設(株)
3. 東関東工業(株)

「村長給料3割カットから満額」・公約違反では

石井 俊雄 議員

議員

小高村長の選挙チラシ、平成28年6月の会報には「3割カットをします。今後継続します」と書いています。これは村民に対する約束だと思えます。これをなぜやめてしまったのか。公約を破っているのではと思うが、見解を伺います。

村長

公約は選挙に向けた夢や希望です。村民にメリットがなければ変更しても良いと考えます。平成29年9月30日まで3割カットを続けたので、公約違反とは思っていません。



駅周辺の整備75%が反対・住民投票を求める

議員

八積駅周辺の事業28億円に加え、認定子ども園と学校給食センターの計画はどうなっているのか、加えると全体の事業費はいくらになりますか。

村長

認定子ども園と学校給食センターは建設する考えですが様々な意見があり、現在、検討中です。加えた全体の事業費は確定していません。

議員

平成28年2月に議員に配布した資料から言えば、認定子ども園と学校給食セン

ターを加えると「44億7千687万円」となります。

企画財政課長

認定子ども園と学校給食センターの建設費は概算の数字です。

議員

認定子ども園などの概算を加えた「44億7千687万円」は大事業であり、村民公募を行い、仮称八積駅周辺整備検討委員会を設置する考えがありますか。

村長

設置する考えはありません。

議員

全村民を対象とする住民説明会や、住民投票を行う考え方がありますか。

村長

住民説明会はしません。住民の代表は議会ですから住民投票は考えていません。

議員

石井としお後援会の村政アンケート調査（平成29年12月段階で850人）八

積駅周辺の整備に75%が反対でした。大きな事業については住民投票で決めるは97%もありました。

学校給食センターの建設89%が反対

議員

村長はなぜ、学校給食センターを建設するとした公約を出したのですか。

村長

3小学校の給食調理室が老朽化していること、衛生基準も満たしていないので、給食センターの建設を考えました。

議員

平成26年には浜松市で1200人、平成27年には和歌山で800人が食中毒発生。平成29年には久喜市で一人の調理員がノロウイルスにかかり、7小中学校1400人の給食を4日間中止しています。給食センターの建設はデメリットがたくさんあると思います。答弁をお願いします。

学校教育課長

文部科学省から「基準に適合するよう改善せよ」と勧告されています。建て替えとなると現在の2〜3倍の敷地が必要となります。同一条件で比較しなければデメリットとは言えません。

議員

先生からは「長生村はランチルームがあつて作る人と食べる子ども達の顔が見え、美味しい匂いもした」とのこと。アンケートでも「学校内で作つていれば匂いを感じて感謝の気持ちも伝えられる」との声です。この村民の声をどう考えますか。

村長

自校給食は評価しています。新しく作り変えないと危険性が強まっています。学校の目の前に給食センターを作り、同じ調理員が作ります。こう説明すると中学生は納得してくれます。

議員

石井としお後援会の村政アンケートの結果では、89%の方々が学校給食センターは作らないでほしいという声をいただいています。

村の奨学金について

門口 昭 議員

議員

村の奨学金・育英修学金制度と利用状況について伺います。

教育長

奨学金制度は、経済的理由により修学の困難な者に対し、修学上必要な学資の貸付を行い、広く人材育成をすることを目的にしております。

また、育英修学金制度は村内に一定期間居住すれば、返還を免除して若者の定住促進を目的にしたものです。29年度の利用状況は、奨学金貸付者が9名、育英修学金8名、30年度は奨学金3名、育英修学金4名となっております。

議員

募集案内を検討した住民からは、貸付要件が厳しい

との指摘があります。

貸付の条件に、連帯保証人2名とあります。ふつうの保証人と違い、催告と検索の抗弁ができないということですので、いきなり保証人に請求され、財産探しをされるというものです。

その他にも、申請者と別世帯で祖父母、兄弟以外の者。返済完了するまで返済能力を持つ65歳以下の者。千葉県内に住所を有する者などです。条件を満たさなくて、利用を断念した人もいます。貸付要件を緩和することができないか伺います。

学校教育課長

これらの条件は、他の自治体を参考にしていますが、要件が厳しいという意見もあります。

これとは別に、国では、

住民の行政参加について

議員

住民が行政に参加するための施策について、住民投票制度の利用を考えているか伺います。

村長

住民投票制度の利用は考えていません。常に、住民の方からの多様な意見を聞きながら、議員が住民の代表として選出されていることから議会とも協議をして必要性があれば検討します。

議員

行政活動について住民が不満を持つ場合、どのようにすればよいか伺います。

村長

村は、日ごろから、各課

窓口による相談対応をしています。

また、村内5ヶ所に村長へのご意見箱の設置、各自治会からの意見、要望をお聞きする地域づくり連絡員によるご用聞き、行政相談委員制度における民間有識者との行政相談などで、住民の声に対応しています。

議員

ご意見箱などの実績を伺います。

総務課長

ご意見箱などでは、47件です。

内容は、道路、ごみ集積所などの環境整備、文化会館図書室の充実、福祉タク

シー助成の拡大などで、意見を頂いた方には文書で回答しています。

議員

たくさんのお不満がある中で法制度としては、行政不服申立て制度や住民監査請求などがあります。

住民が行政機関による違法、不当な行政行為から権利、利益が侵害された場合、その是正を、その処分をした村長に求めるというもので簡易な是正制度です。これに対する、村長の考えを伺います。

村長

議員の意見を参考に対応を今後も進めていきます。



役場に設置されている村長へのご意見箱

「生産性向上特別措置法」 成立による村の取り組み は!?

井下田 政美 議員

議員

生産性向上特別措置法が成立し、ものづくり・サービス補助金、ＩＴ導入補助金について、追加の受付があると思いますが、積極的に制度の活用・推進をはかるべきと思つが村の見解は、また、村内の中小企業各社に対する情報提供の周知はどのように考えていますか。

産業課長

商工会と連携をはかり、制度活用ができるよう進めたいと思います。周知につきましても、商工会をはじめ、広報ちようせい・村ホームページなど広く情報提供していきたいと考えています。

議員

固定資産税の課税標準を、村条例で、3年間1/2.50に定める割合に軽減することができるとなるが、村の見解を聞かせてください。

税務課長

生産性向上特別措置法の施行日が未定で、制度の運用も定まっていなかったことから、当面の処置として特例率を1/2としました。今後の導入促進基本計画等の策定の状況などにより、また、近隣の市町の状況を踏まえ、再度検討したいと考えています。

「災害協定締結」いよいよ実現!!

議員

遠隔地自治体との災害協定について、過去何度か質問しましたが、いまだ締結に至っていません。その後の取り組みについて伺います。

村長

遠隔地自治体との災害協定について、事務レベルで取り組んできたところです。今までの取り組み状況、締結を予定する自治体の概要、今後のスケジュールなどについて、本定例会6月会議で、議会に報告させていただきます。

中小企業設備投資 支援制度について

議員

中小企業設備投資支援制度はどのような制度なのか、また、この制度について村の見解を伺います。

村長

この制度は、中小企業が生産性向上のための設備投資を行う場合、先端設備等導入計画を作成し認定を受けた法人に対し、償却資産に係る固定資産税を3年間1/2.50にする制度です。村としても、中小企業が生産性向上・雇用促進につながる事業だと認識しています。

議員

中小企業設備投資支援制度には、ものづくり・サービス補助金、持続化補助金、サポイン補助金、ＩＴ導入補助金の4つの補助金があるが、具体的な内容を教えてください。

産業課長

ものづくり・サービス補助金は、生産性向上のための設備投資を支援する補助金。持続化補助金は、販路開拓などを支援する補助金。サポイン補助金は、大学などと連携して研究開発や試作品開発・販路開拓などを支援する補助金。ＩＴ導入補助金は、業務の効率化や売り上げ向上に資するため

の補助金で、業務効率の改善などをはかるために活用されるものです。

議員

それぞれの補助金について、何社から申請があったのか。また、どのような情報提供をしたのでしょうか。

産業課長

持続化補助金に4社から申請がありました。また、情報提供は、商工会が行っています。

その他



中小企業庁のホームページから

「教員の働き方改革と部活動の質的な向上について」「公用車のカーリース導入について」「奨学金制度について」の質問をしました。

乗り合いタクシー、法定協議会で本格的検討を

関 克也 議員

議員

長生村第5次総合計画後期基本計画アンケート（以下、総合計画アンケート）では「税金を使つての新交通システム導入」の意向を村民に聞いていますが、村はこの結果をどう判断したのか伺います。

企画財政課長

総合計画アンケート結果の検証、メリットデメリットを含めて総合的に検討してきた結果、村民全員が対象となり村外まで運行できるような公共交通を実施することは困難であると結論を出しました。村外への利用ニーズが

企画財政課長

既存の路線バスやJRなどの、民間で実施されている一般的な公共交通以外のシステムということです。

議員

それでは巡回バスなり乗り合いタクシーということになりますか。

企画財政課長

住民にとっては巡回バスであろうかと考えています。

議員

アンケートの問い26「村内のみの新しい交通システムがありましたら、あなたは利用したいと思いますか。」の回答で、1回の利用料金が300円以下から600円程度まで利用料金にかかわらず利用するとの回答が

54・6%と半数を超える、と報告書にあります。

企画財政課長

総合計画アンケートの回答で一番多いのが一回の利用料金が300円程度以下なら利用する村民で、約40%が利用するとなっています。民業圧迫となるため村で300円以下の料金設定は困難と考えます。

議員

民間業者の圧迫になるということであれば法定協議会をちゃんと立ち上げて本格的に検討し前進させていただきたい。

代理受領制度が概算払いかを検討中

議員

補助金代理受領制度の実施について「調査した上で今後の課題にしたい。」と村は答弁していたが、その後どうなっているかを伺います。

企画財政課長

村の各種補助金を洗い出

して対応の可否などを整理しているところ。代理受領制度が適切なかどうか、補助金の概算払いで対応できないか、住民の利便性を第一に検討しています。

議員

今年度の住宅リフォーム助成金は、当初予算を400万円で計上したが、現実は補助金の都合により90万円しか枠がない。補助金の大幅な増額が必要ではないか。

産業課長

要望が多いため県に対して書面で増額要望をしたい。

その他

「国保県単位化にあたって保険税負担の軽減を求めることについて」の質問をしました。



御宿町で運行している乗り合いタクシー

議員
役場職員の地域交通検討会議でどんな検討をしたのですか。

村長

役場内に「地域交通検討会議」を設置し、ここでの検討結果を踏まえ、福祉タクシーの充実・拡充が最適と判断しました。

生活道路の村道認定を行い 舗装、排水整備を進めよ！

塩谷 法道 議員

村政の姿勢について

議員

史上初の米朝首脳会談が行われ、朝鮮戦争の平和的解決への第一歩が進みました。国際紛争の話し合いによる解決は、日本国憲法の国際平和主義そのものです。

世界に先駆けて確立した「戦争放棄」、「戦力不保持」、「交戦権の否認」を明記した憲法9条が光り輝いています。

村長並びに執行部はどのような姿勢で村政に携わっているかお聞きします。

村長

憲法は最高法規と認識。村民の安全・安心、福祉の向上を第一に考える。

議員

職員を含め村民全体を対象にした「憲法学習会」を

企画したらどうか。

村長

憲法の意義を考えることは極めて重要と考える。今後の検討課題とします。

公衆道路の 村道認定を進めて

議員

村内の住宅地には未舗装の凸凹道が放置されており、歩行者や自転車、バイクでの転倒事故が相次いでいます。生活環境の改善のため、公衆道路の速やかな舗装ならびに排水整備を実施すべきと考えますが、その決意を伺います。

村長

自治会要望を受け、計画的に整備している。

議員

従来「私道」と言われて

いる道路は、建築基準法の接道基準を満たすための道路であり、一般交通の用に供している道路として道路交通法の適用を受けていると思うがどうか。

まちづくり課長

お見込みのとおりです。

議員

なぜ未舗装道路が放置されたのか。

まちづくり課長

県の宅地開発条例制定の昭和44年以前のものなどがある。現行法では未舗装では開発が認められない。

議員

村管理道路以外で未舗装道路がほかにもあるのでは。

まちづくり課長

ほかにもあるが、数は把握していません。



未舗装の生活道路

議員

これらの土地は、細分化され、県外所有者も多く、個人の力では全所有者の把握は困難だ。

まちづくり課長

所有者不明土地への対応は、国でも検討されており、動向を注視するとともに、調査を実施したい。

議員

現に公道として使用されており、道交法の適用を受け、土地所有者には占有権も専用使用権もない。本来開発時に一括して村道認定してしかるべきだがどうか。

まちづくり課長

即座に村道認定できるかは判断しかねる。今年度末までをめどに調査を実施したい。

駅前整備は、村民 の意見を活かせ

議員

発表された現在の駅前広場の改善案は、中途半端。安全を確保するため一定の

広場を確保し、ロータリーを設けるとともに、送り迎えの乗降場所を確保し、安全で「ながいき村」の顔にふさわしい「こじんまり」と美しい駅前を作るべきです。村民とともに最善の改良工事をとの姿勢を確立し、改善案の公募、村民参加を検討すべきだが、その意思があるか、伺います。

村長・まちづくり課長

公募は実施しないが、提案を頂いたものは、検討材料とさせていただきます。

議員

事業の推進に際しては、地権者、居住者ならびに住民の利益を守り、同意を得て行うことを求めます。

村長・まちづくり課長

地権者等々には丁寧な説明をし、ご理解、同意を得て進めていきたい。

その他

「公民館改築問題について」の質問をしました。

議長・議員が出席または参加予定の主な行事

6月

3日 第六支団消防ポンプ操法大会
 5日 議会運営委員会
 12日～13日 議会定例会6月会議
 16日 長生村青少年育成会総会
 20日 長生村シルバー人材センター総会
 21日 一宮地区防犯組合連合会総会
 23日 長生村剣道大会
 24日 長生支部消防操法大会
 25日 議会だより編集特別委員会

7月

2日 一宮川地区湛水防除施設管理運営協議会総会
 3日 長生村夏期観光安全対策会議
 4日～5日 長生郡市広域市町村圏組合議会行政視察
 5日 市町村議会広報研究会
 7日 広島平和記念式典派遣事業結団式
 12日 海開き式典
 13日 長生郡市広域市町村圏組合議会臨時会
 18日 議会だより編集特別委員会
 19日 長生会総会
 24日 議会だより編集特別委員会
 26日 長生村老人クラブ連合会芸能大会

8月

2日 千葉県町村議会議員研修会
 11日～12日 ちようせい盆踊り大会
 20日 山口県町議会議長会視察団来庁
 24日 九十九里地域水道企業団理事会
 27日 長生郡市広域市町村圏組合汚泥再生処理センター落成式
 28日 長生郡市広域市町村圏組合議会第2回定例会本会議

9月

4日 議会運営委員会
 11日～13日 議会定例会9月会議（予定）
 21日 長生郡市広域市町村圏組合議会決算審査特別委員会

皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、傍聴しませんか。傍聴席は先着順で32席です。当日、役場の3階傍聴席入り口で、氏名などを記入していただきます。次の「議会定例会9月会議」は9月11日（火）から開催の予定です。



議会だよりに対する
ご意見ご感想を
お寄せください。
ご連絡は下記まで。



長生村議会事務局
TEL:32-4744 FAX:32-1177

編集後記



本号より、新人議員も交えてのスタートです。まちづくりは「まち」を自分の目と足と耳でしっかりと観察することから始めるのが基本であると言われる。

住民の「こえ」に敏感に対応できる議会づくりに励み、村長と切磋琢磨する議事機関としての結果を、見やすい・読みやすい・分かりやすい「議会だより」にしたいと編集委員一同励んでまいります。

（委員長）



新しい議会だより編集委員
 写真左側手前から
 岡本委員・鈴木委員・木嶋委員
 野口副委員長・門口委員長・矢部議長
 中村委員・関委員・岩坂委員